

渡り鳥のように振る舞う

今度の秋に、渡り鳥が冬に備えて V 字編隊を組んで南に渡り始めるのを見たときに、あなたはどのようにして渡り鳥はそんな形を組んで飛ぶのだろうかと考えるかもしれません。

それぞれの鳥が翼を羽ばたくたびに、すぐ後ろにいる鳥を持ち上げる力を生み出します。V 字編隊で飛ぶことによって、一羽で飛ぶときと比べて、飛距離を 71%増します。同じ方向性と連帯感を共有する人たちは、お互いの推進力と信頼に乗って進むので、目的地により早く、そしてより簡単にたどり着くことができます。

鳥が編隊から離れると、とたんに一羽で飛ぶときの空気抵抗を感じます。そして、目の前の鳥の“揚力”をうまく利用するために素早く編隊に戻るのです。もし私たちに渡り鳥ほどの分別があれば、私たちと同じ目的地を目指す人たちと作る編隊にとどまり、彼らにサポートを提供すると同時に彼らのサポートを受け入れます

先頭の鳥が疲れると、編隊の後ろに付き今度は他の鳥が先頭に立ちます。大変な仕事を交代でやるのが賢明です。渡り鳥同様に、人である私たちもお互いに持ちつ持たれつのものであります。

渡り鳥は後ろから鳴きながら前の方の鳥たちをスピードが落ちないように励まします。後ろからの鳴き声が、励ましのためのものであり、他の何ものでもないことを確かにしなくてはなりません。

最後に、これは重要なことですが、鳥が病にかかったとき、または銃弾を受けて負傷して、編隊から離れてしまうときに、その鳥と一緒に他の 2 羽の鳥も編隊を離れ、その鳥を助け、守ります。編隊から外れてしまった鳥が再度飛ぶことができるようになるか、死んでしまうまで、その 2 羽はともに留まるのです。それから自分たちの編隊に追いつくために、自分たち自身で再出発するか、他の編隊と合流します。

もし私たちに渡り鳥ほどの分別があれば、私たちが強いときだけでなく、困難なときにも互いに力を貸し合えるでしょう。

ミルトン・オルソン